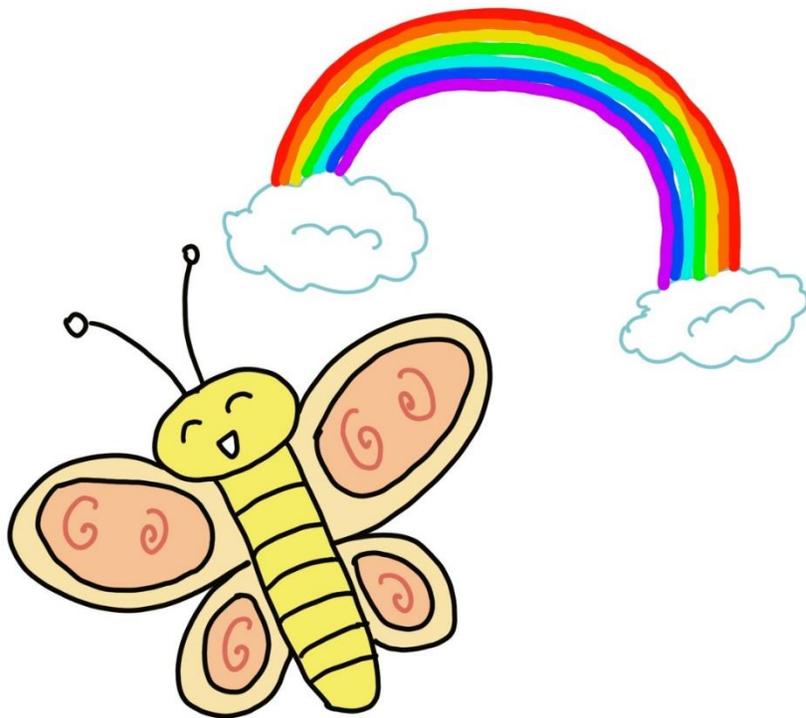


いっしょ いつも一緒に



つく ^{ひと}
作った人：リュウ・バイリン

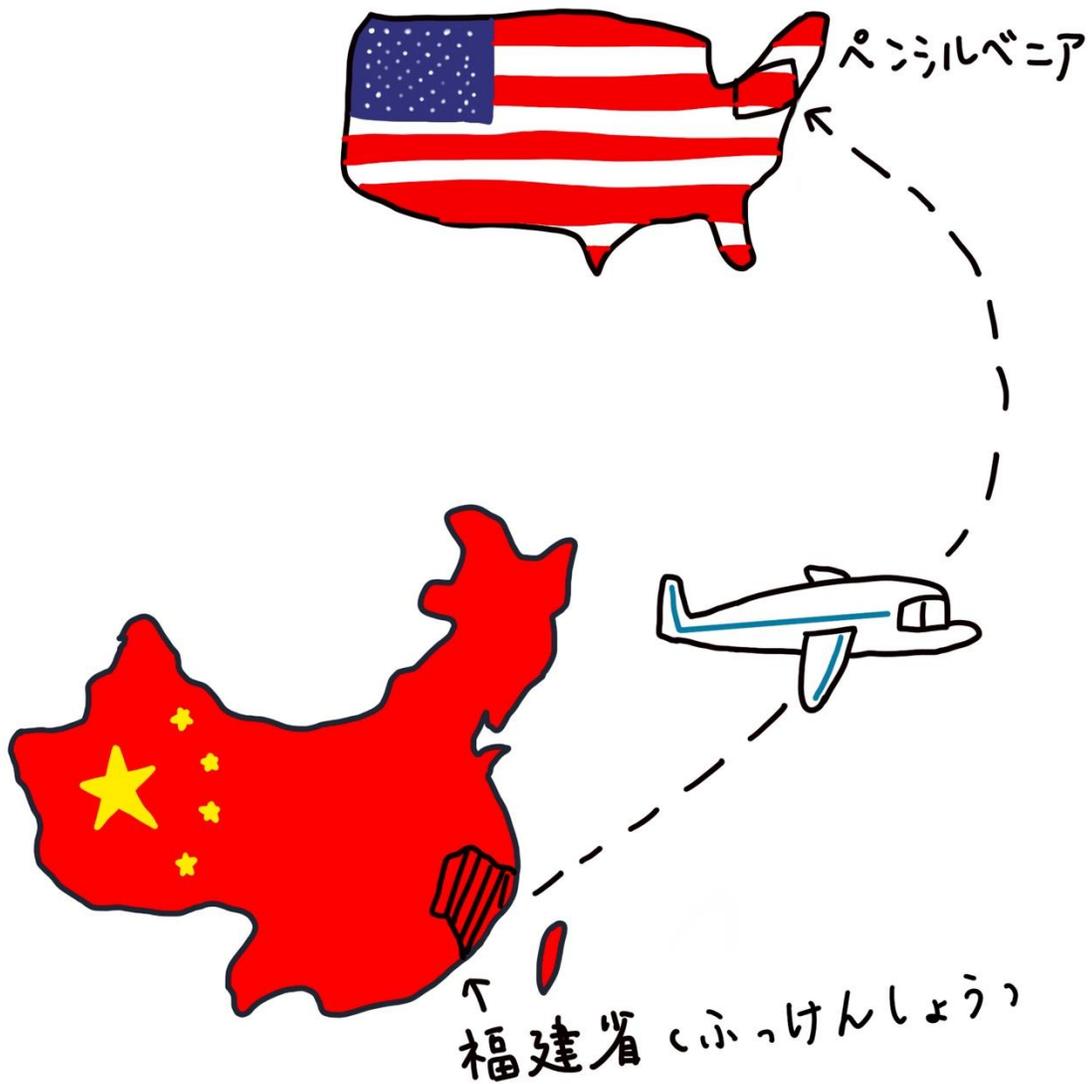
リュウ・バイリンさんは、ペンシルバニア ^{しゅうりつだいがく} 州立大学で ^{にほんご} 日本語を ^{べん} 勉強

^{きょう} 強していました。 ^{たどく} 多読の ^{じゅぎょう} 授業でこの ^{ほん} 本を ^{つく} 作りました。

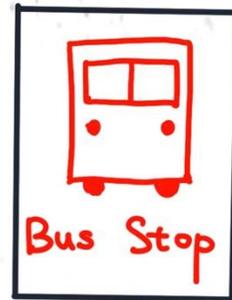
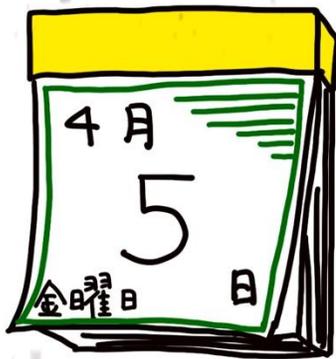
イラストもリュウさんが ^か 描きました。

リュウさんを ^{てつだ} 手伝った ^{せんせい} 先生： ^{たなかまみせんせい} 田中麻美先生

きよねん がつ わたし べんきょう つづ
去年の1月、私は勉強を続けるために
アメリカに^き来ました。^{がつ}4月に、^{わたし}私のおじ
いちゃん^なが亡くなりました。



その日は金曜日でした。今でも覚えてい
ます。バス停でバスを待っていた時、お
母さんからおじいちゃんのことを聞きま
した。



それから、たくさん泣きました。一人
で食べている時、歩いている時、いつも
おじいちゃんのことを考えていました。



かあ でんわ とき ゆめ なか
お母さんと電話した時、「夢の中で、おじ
いちゃんに会ったよ」と言われました。
でも、私の夢には会いに来てくれません
でした。

昨日、ゆめの中でおじいちゃん
に会ったよ。

うらやましいな...



お母さん



私

おじいちゃん...

わたし
私は「どうして私だけ、おじいちゃん
に会えないの？おじいちゃんはおじいちゃん
わたし
を愛してしまっただけなの？もう私のこと
わたし
を愛していないの？」と思いました。私
わたし
には理解できませんでした。ただ、ずっ
かな
と悲しかったです。

なんで、私の夢の中に来ないの？

じいちゃんはまだ、私を忘れてしまったの？

でも、^{ことし}今年の^に二月の^{ある}夜、^{よる}夢^{ゆめ}の中^{なか}でお
じいちゃんに^あ会えました。



ゆめ なか わたし ちゅうごく いえ かえ
夢の中で、私は中国の家に帰りました。

すると、目の前におじいちゃんが立っ
て

いました。私は何も言わずに、泣きまし
な

た。そして、おじいちゃんと手をつなぎ
て

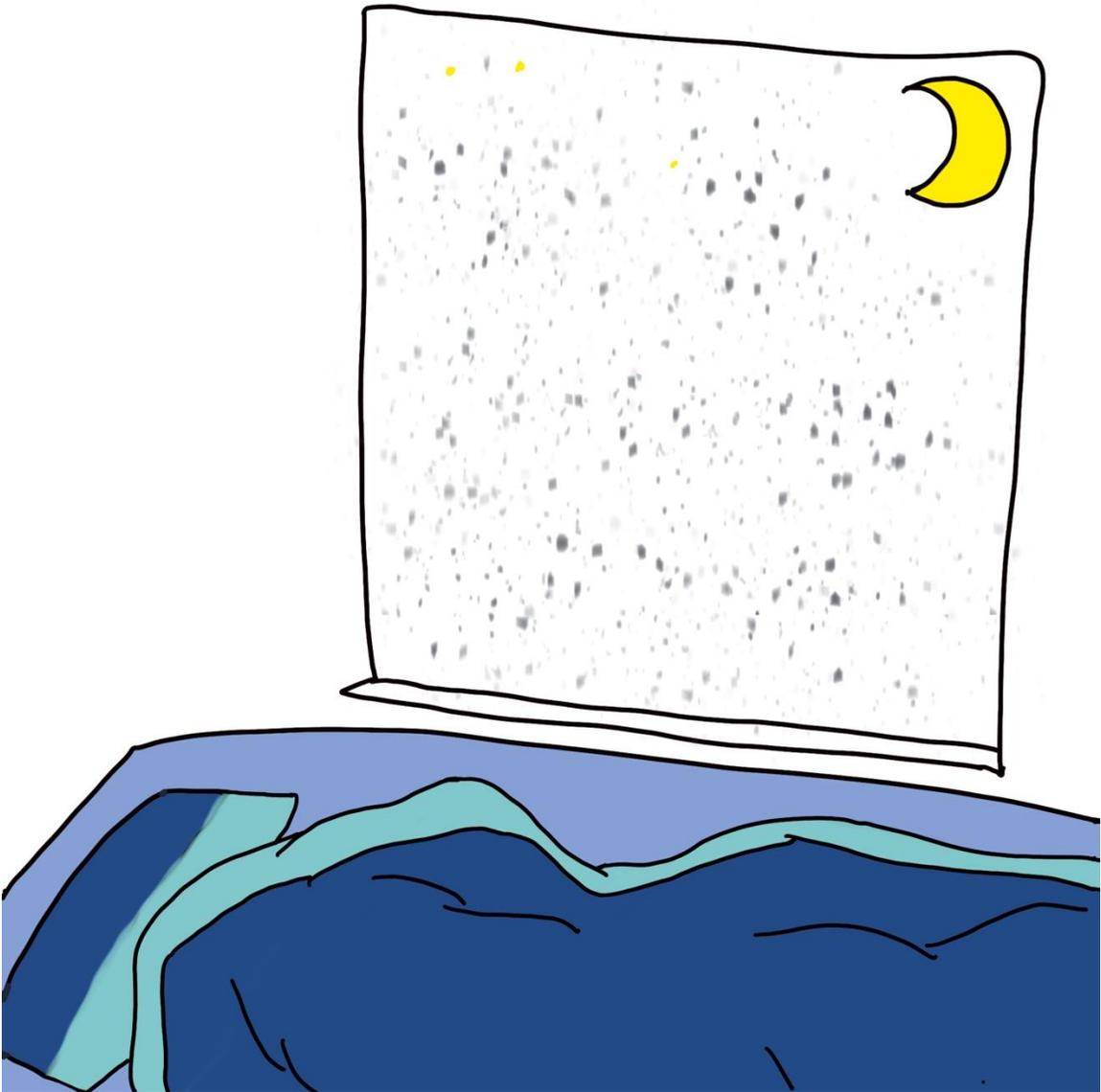
ました。

ゆめ なか ゆめ み
夢の中で夢を見ているようでした。



お
起きると、^{つき}月は^{あか}明るくてきれいでした。

「いい^{ゆめ}夢だったね」と^{つき}月が^い言っているよ
うでした。



つぎ ひ あめ わたし まど まえ にっき
次の日は雨でした。私が窓の前で日記を
か とき め まえ
書いている時、とつぜん、目の前にチョ
と
ウが止まりました。



まもなく^{あめ}雨がやみました。^{わたし}私はおじいちゃん^あがチョウになって^き会いに来てくれた^{おも}と思いました。^{わたし}私はチョウに「おじいちゃん？」と^き聞きましたが、こたえはありませんでした。そしてチョウは^と飛んでいきました。



わたし
私^{かんが}がずっとおじいちゃんのことを考^{かんが}え
ていたから、おじいちゃんは夢^{ゆめ}の中^{なか}に会^あ
い^きに来てくれたのかもしれない。それ
から、私^{わたし}は思^{おも}いました。私^{わたし}がおじいち
やんのことを考^{かんが}えている時^{とき}はいつも、お
じいちゃんは私^{わたし}のそばにいます。



わたし
私とおじいちゃん